

み  
う  
れ  
え

# 今こそ! 労福協の力を

2021 全国福祉強化キャンペーン

## 福祉強化キャンペーンにむけて

労福協の“福祉はひとつ”で始まった労働者福祉運動は、働く仲間同士で助け合い、支え合う“しくみ”として労働金庫・労働者共済を創り、組織強化とともに利用促進・共助拡大に努めてきました。

この10年の間、政治・経済・社会の状況は大きく変わり、自己責任論が蔓延し、格差や貧困はさらに広がり、社会的孤立に陥る人が増えています。さらに今般の新型コロナウイルス感染拡大が追い打ちをかけ、その収束の兆しが見えないなか、多くの勤労者とその家族は不安を抱えながら生活を送っています。こうした状況を踏まえ、協同組合や労働者福祉事業の意義や役割について、お互いに再確認し運動を前進させる必要があります。

先輩たちがつくり育てあげ、働く方々の生活に大きく貢献してきた労働者福祉運動をさらに充実させ、次世代に引き継ぎ、人財の育成と運動の拡大を進めることができます、今私たちにとって大切なことです。

ポスト  
コロナ

目 次	_____
労福協支部便り	P2・P3
労働相談所みなくるからのお知らせ	P3
福祉強化キャンペーン	
ろうきん・こくみん共済coop	P4
鳥取県生協・鳥取医療生協	P5
福祉事業団体通常総会・総代会開催	P6
奨学金に関する電話相談	P7
教育費や奨学金返済の負担を軽減する税制支援を!	
オンライン署名の呼びかけ	P7
第68回鳥取県勤労者美術展のご案内	P8

労福協  
東部支部

# Net De 労福協 MATURI 開催 !!

東部支部労福協まつりは、労働者の福祉向上とワーク・ライフ・バランスの推進、ならびに労福協の存在や活動をアピールすることを目的として、一昨年度まで毎年開催しておりましたが、新型コロナウィルス感染症の蔓延により、昨年度は中止せざるを得ませんでした。未だ新型コロナウィルスは変異しながら感染拡大を続けており、今年度の開催も難しい状況でしたが、働く皆さんやそのご家族に楽しんでもらうため、「何とか労福協まつりを開催したい！」という思いから、これまでの開催内容や方法にとらわれない新しい開催方法を模索することにしました。その結果、今年度は人が集まるイベントにせず、ネット上での開催とすることにしました。

その名も「Net De 労福協 MATURI」。内容は、「写真展」と「川柳コンクール」です。

2年ぶりの労福協まつり。入賞者には素敵な賞品を贈呈します。

迷わず出そう 出せば分かるさ！！

(対象は、東部支部組合員とそのご家族です。)

最後に、「Net De 労福協 MATURI」を通して、労福協の理念が実現されることを祈念し、みなさまご唱和ください！

「すべての働く人の幸せと豊かさを目指して、連帯・協同で安心・共生の福祉社会をつくろう！」 1.2.3. ダニッ！！

## 今後の予定

10月29日（金）労福協東部支部第4回幹事会

12月 街頭カンパ

## 1月 書き初め展 学習会



県労福協HPにもチラシがあります



労福協  
中部支部

毎年夏に多数の参加により賑わっている中部支部労福協まつりですが、昨年に続き本年もコロナ禍により残念ながら中止としました。

メインイベントの「魚つかみ」を楽しみにしていただいた方が多かったことだと思います。

思えばこの「魚つかみ」という体験は、学校のプールや海とは違う渓流の水の冷たさ、きれいな水質を体感し、また、普段の生活ではまず触れることがない生きた川魚に触れ、魚の動きの敏捷さについての理解を深めることができます。

加えて、自分で捕まえた魚を家で調理されたものを食べることを通して、食の大切さ、食育についても学ぶことができます。

「人の身体は食べたもので出来ている」ということ、「食べ物」を「食べる」ことは「命」を「いただく」ということであることを、一見遊びのような「魚つかみ」が教えてくれるのであれば、ぜひ来年こそは開催したいと願うところです。



### 過去の様子から



## 今後の予定

10月26日 四役、當任幹事會

11月以降 支部学習会、労福協まつり代替え行事などを順次企画したいと思います。

引き続き積極的な参画をお願いします。

**労福協  
西部支部**

新型コロナウイルスの感染拡大により、障がい者施設の作業所においても製品の販売が減少し、作業所で働く障がい者の皆さんの収入（工賃）が減少しています。作業所で働く皆さん方が安定的な収入を確保し、少しでも社会参画の促進・自立の支援になるように「鳥取県障がい者就労事業振興センター」とタイアップし、県下作業所の商品の物販活動を6～8月に取り組みました。第二弾を10月に取り組む予定にしています。

また、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、全体で集まって取り組むことが難しくなってきていますが、必ずしも集合運動でなくても自主福祉・社会貢献ができるのではないかという問題提起を受け、現在各構成組織が取り組んでいる内容等を参考にしながら全体での取り組みに拡げていく予定です。引き続き共生社会実現に向け、取り組みをすすめることとします。

**今後の予定**

- ・第2回幹事会（10/19）・第18回労福協まつり（米子産業体育館11/14）
- ・福祉事業団体学習会（11月中旬）・年末街頭福祉カンパ活動（12/11）



2020年12月街頭カンパの様子

**労働相談所  
みなくる**
**～最近の相談より～**

みなくるに寄せられる相談では職場におけるハラスメントの相談が年々増加しています（右図参照）。

「これってパワハラですか？」  
「上司が怖くて出勤できません…」など  
また、みなくるの講師派遣事業においても、ハラスメントやメンタルヘルス、コミュニケーションのテーマを希望される事業所や団体が近年増えています（右表参照）。

2022年4月からは、中小企業においても職場におけるハラスメント防止対策が義務となります（現在は大企業のみが義務）。

**事業主の責務** 職場におけるハラスメントの問題に対する研修の実施や他の労働者に対する言動に必要な注意を払うこと

**労働者の責務** ハラスメント問題に関心と理解を深め、他の労働者に対する言動に注意を払い、事業主が行う措置に協力すること

図 みなくる相談「職場の人間関係に関する相談件数の推移」

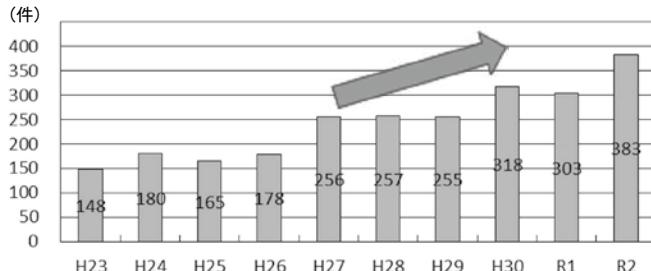


表 社内研修の講師派遣の希望テーマ（R2）

研修テーマ	件数
ハラスメント防止	20件
メンタルヘルスケア	11件
コミュニケーション向上	8件
労働法・ワークライフバランス	6件
アンガーマネジメント	1件
計	46件

**労使ともに働きやすい職場づくりを推進していきましょう！**

※みなくるでは、社内研修を企画する企業や労働組合などの団体へ講師を無料で派遣する事業を行っておりますので、どうぞご利用ください。（年度内1回）

みなくる鳥取	みなくる倉吉	みなくる米子
電話 (0857)25-3000	電話 (0120-662-390)	電話 (0120-662-396)

みなくる通信

<メール相談>minakuru@roufuku.jp

## 今こそ！ 労福協の力を

# 労働 共助の輪

ろうきんが「福祉金融機関」です！ と言えるのは…

### ろうきんの理念

ろうきんは、働く人の夢と共感を創造する協同組織の福祉金融機関です。

ろうきんは、会員が行う経済・福祉・環境および文化に関わる活動を促進し、人々が喜びをもって共生できる社会の実現に寄与することを目的とします。

ろうきんは、働く人の団体、広く市民の参加による団体を会員とし、そのネットワークによって成り立っています。

会員は、平等の立場でろうきんの運営に参画し、運動と事業の発展に努めます。ろうきんは、誠実・公正・および公開を旨とし、健全経営に徹して会員の信頼に応えます。

(1997年5月16日 全国労働金庫協会理事会)

昨今、SDGsが盛んに言われるようになりました、「福祉金融機関」を標榜する銀行も現れるようになりましたが、法律で労働者のための福祉金融機関として認められているのは〈ろうきん〉だけなのです。労働金庫法（抜粋）では、以下のように謳われています。

第1条（目的）この法律は、労働組合、消費生活協同組合その他労働者の団体が協同して組織する労働金庫の制度を確立して、これらの団体の行う福利共済活動のために金融の円滑化を図り、もってその健全な発達を促進するとともに労働者の経済的地位の向上に資することを目的とする。

つまり、労働組合等は〈ろうきん〉を育成し、〈ろうきん〉は労働組合の福利共済活動の健全な発達と労働者の経済的な福利向上のために事業を行うことが目的であると定められています。

労働組合と組合員（労働者）、ろうきんは相互扶助の関係で結ばれている訳です。

## ◎こくみん共済 coop ってなに？

### 「こくみん共済 coop」とは

正式名称を全国労働者共済生活協同組合連合会といい、消費生活協同組合法（生協法）にもとづき、厚生労働省の認可を受けて設立されました。

私たちはたすけあいの生協として1957年9月に誕生し、たすけあいの考え方や仕組みを通じて「みんなでたすけあい、豊かで安心できる社会づくり」にむけた、共済事業を行う協同組合です。共済事業とは、私たちの生活を脅かすさまざまな危険（生命の危険や住宅災害・交通事故等）に対し、組合員相互に助け合うという活動を、保険のしくみを使って確立した保障事業です。

## ◎こくみん共済 coopが大切にしていること！

### 労働者自主福祉事業団体としての「こくみん共済 coop」

協同組合の特長は、労働者自主福祉運動との結びつきにあります。労働者が相互扶助や協同・連帯の理念と手法にもとづき、自主的に福祉活動の主体となり、自らの資金と組織によって、その生活上の問題の解決にあたる活動のことをいいます。それは、労働者自身をその主体とする福祉活動の分野を指しています。当会の活動は、これまで多くの労働組合員の自主的な活動によって組織化され育ち、働く方々の生活に貢献してきました。今では、労働組合のみならず地域の労働者・生活者全体に、活動の裾野が広がっています。

## 2021全国福祉強化キャンペーン

# 者福祉運動で、 を地域に広げよう！

## 【鳥取県生活協同組合】

### フードサポート事業の取り組み

2016年4月、八頭町社会福祉協議会からスタートした「フードサポート事業」は鳥取市、若桜町社会福祉協議会、米子市社会福祉協議会、倉吉市社会福祉協議会との連携に広がりました。この事業は、様々な理由で処分されてしまう食品を食の支援を必要としている方々に提供する活動で、鳥取県生協では商品センターの予備品やイベント等でのサンプルを活用した支援を行っています。また、鳥取市などとは「地域(こども)食堂ネットワーク」の一員として食材提供に関する協定を結び、こども食堂へ食材提供を行っています。

### フードドライブ事業の取り組み

フードドライブとは、家庭で使われていない食べ物を学校や職場などに持ち寄り、それらをまとめて地域の福祉団体や施設、フードバンクなどに寄付する活動です。鳥取県生協では、鳥取県からの委託を受けフードドライブに取り組んでいます。組合員様や地域の方々、お取引先様などにもご協力をいただき、昨年度は2,433点(約1,069kg)の食品が集まりました。

フードドライブ(昨年度受取時の様子)



## 【鳥取医療生活協同組合】

鳥取医療生活協同組合は、「健康で長生きしたい」「いざというとき安心してかかる病院、診療所がほしい」という地域住民の願いを実現するためにつくられ、組合員と職員が力を合わせて、健康づくり、まちづくり、医療制度の充実などに取り組んでいる協同組合です。

1951年に「勤労者とその家族の健康を守りたい」との思いから、鳥取勤労者医療生活協同組合として創立され、今年で創立70周年を迎えます。

鳥取医療生協の組合員活動は、「人ととの協同の力で、健康で平和なまち、いのち輝くまち、鳥取をつくります」の理念のもと、年間を通して健康づくりや保健予防活動、ボランティア活動、社保・平和活動等に取り組む活動です。

毎年10月1日～11月30日の2ヶ月間を「生協強化月間」とし、仲間ふやし、出資金ふやし、班づくり・班会開催、担い手づくりに取り組み、地域組合員と職員が協力して訪問行動や組合員中心の楽しい企画、健康づくり企画などを行います。コロナ禍で外出自粛が増える中、「人とのつながりを大切に」と、今年は高齢者の方向けにLINE教室の開催なども行っています。こうした活動を通じ、「健康で安心して暮らせるまちづくり」の実現に向け、今後も取り組んでいきます。

## 中国労働金庫 第18回通常総会

2021年6月25日、中国労働金庫第18回通常総会が広島市で開催されました。コロナ禍により前年に続き本店ビル大会議室からのWeb開催となりましたが、本店会場並びに各県会場に179会員からの代表者が出席して議案審議を行い、決算剰余金処分案や第7期中期経営計画案など、すべての議案が承認されました。また、役員改選が行われ、新たに鳥取県選出の船岡 誠理事（紙パ連合・王子製紙新労働組合米子支部）が就任されました。



戸守理事長



本店総会会場の様子

## 第69回鳥取県共済生活協同組合通常総代会 第4回こくみん共済coop鳥取推進本部組合員代表者会議

2021年7月29日（木）ホテルニューオータニ鳥取3階鶴の間で通常総代会および組合員代表者会議を開催しました。

新型コロナウイルス感染拡大防止と安全確保の観点から、開催規模を縮小・変更し、運営を簡略化したうえで開催をしました。

総代総数 110名（本人出席 31名 書面議決 77名）

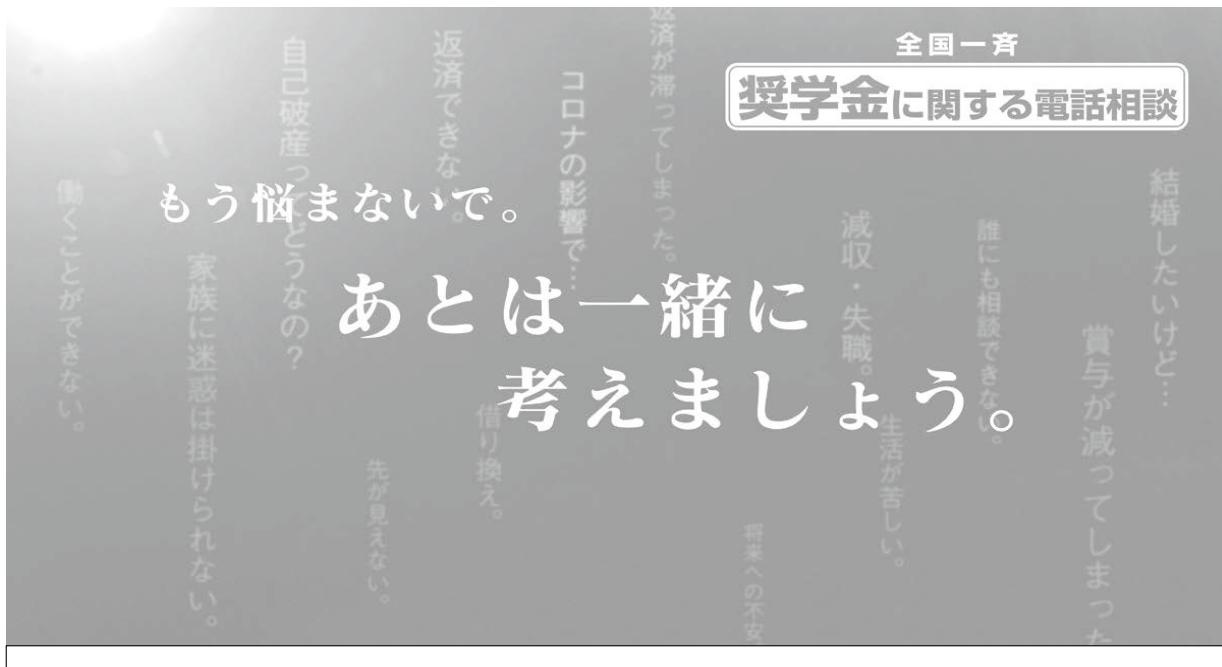


松崎本部長

### 2021年度推進活動計画の基調

1. 取り巻く環境の不透明感・不安定感に柔軟かつ機敏に対応しながら事業目標の達成を目指します。
2. 組合員の皆さま一人ひとりにあった多様なコミュニケーション手段を確立しながら「もしもの時の最適保障」の提案をすすめます。
3. 「7才の交通安全プロジェクト」「こども成長応援プロジェクト」の継続取り組みと「防災・減災運動」の取り組みを連合、労福協、労働金庫、協力団体と連携しながらSDGsの活動をすすめます。
4. 「こくみん共済」「個人長期共済」「住まいの共済」の重点共済に加え、制度改定を迎える「マイカー共済」「団体生命共済」の提案活動を最重点課題と位置づけ取り組みます。また、加入推進とともに解約抑止（継続漏れ）策の活動を展開します。
5. 将来にわたって安心を提供し続けるため、健全で安定した事業基盤づくりをすすめ、効率的な事業経費の活用にむけ、費用対効果の検証を行ながらすすめます。

今年度も組合員の皆さんとともに、諸活動に取り組んでまいります。引き続きこくみん共済coop鳥取推進本部へのご協力を賜りますようお願い申しあげます。



日 時 2021年11月11日(木)10時~16時  
 電 話 0120-82-5858  
 メール soudan5454@shore.ocn.ne.jp  
 主 催 ライフサポートセンターとつとり

**オンライン署名で** #教育費や奨学金返済の負担を  
軽減する税制支援を

奨学金返済者や保護者の教育費の負担を軽減する税制支援（減税）の実現をめざし、オンライン署名を呼びかけています。  
ぜひ、ご賛同ください。

**署名の宛先** (順不同)

内閣総理大臣
財務大臣
文部科学大臣

**「奨学金返済と教育費の  
負担軽減を求めるプロジェクト」**

呼びかけ人 (順不同・敬称略)

大内 裕和 (奨学金問題対策全国会議共同代表、中京大学教授)  
 岩重 佳治 (奨学金問題対策全国会議事務局長、弁護士)  
 神津 里季生 (労働者福祉中央協議会会長)

**要請内容**

①奨学金返済負担軽減のための税制支援の実現を！  
 大学等修学支援法（2019年成立）に対する国会の附帯決議では、貸与型奨学金について「返還負担軽減のための税制など返還困難者の救済制度の在り方の検討に努めること」が全会一致で決議されました。国会の意思でもあることから、その速やかな実現を求めます。

②保護者の教育費負担軽減のための減税を！  
 コロナ禍の長期化により、教育費負担の増大が予想され、教育費負担軽減のための政策減税は緊急経済対策として政策効果が高いと考えます。大学などに通う扶養者がいる場合、所得や年齢に制限を設けずに適用することを求めます。

**3ステップで署名**

**STEP 1**  
**今すぐ賛同**

サイトにアクセスして  
「今すぐ賛同」  
ボタンをクリック！

※賛同の際には利用規約などを合わせてご確認ください

**STEP 2**

名前  
名前  
Eメールアドレス

名前とメールアドレスを入力し、  
もう一度「今すぐ賛同」  
ボタンをクリック！

**STEP 3**

届いたメールから  
「メールアドレスを認証」

あなたの賛同を  
正式にカウントさせる

オンライン署名はこちらから

## 第68回 鳥取県

## 勤労者

Worker's Art exhibition

## 美術展

入場料  
無料

洋 画

日本画

写 真

書 道

2022.

1/16(日)→23(日)

午前10時～午後6時

※19日(水)は休館日です

※初日(16日)は正午12時より

※最終日(23日)は午後2時まで

来場者人気投票実施  
(投票期間 1/16～1/22正午)

わたしの熱中作品展 同時開催

## ■ 出品申込期間

2021.

11月1日月～12月20日月 必着

※郵送・メールのみの受付

## ■ 作品持ち込み日

2022.

1月6日木、7日金 午前10時～午後6時

## ■ お問い合わせ

(一財)鳥取県労働者福祉協議会

鳥取市天神町30番地5 電話:0857(27)4188  
E-mail:tottori@rofuku.jp  
http://tottori.rofuku.net/  
※ホームページより申込書をプリントアウトできます

鳥取県商工労働部雇用人材局

鳥取市東町一丁目220 電話:0857(26)7662

※新型コロナウイルスの感染状況によって、本美術展を中止する場合があります。

会場／米子市美術館 第1・2展示室  
米子市中町12駐車場のご案内 米子市役所有料駐車場をご利用ください。  
(駐車券を受付までお持ちください。2時間以内無料の処理を行います。)  
美術館横に身体障がい者用2台・ハートフル駐車場2台を用意しています。  
※感染拡大防止のため、入館時に検温、マスク着用及び緊急連絡先のご記入をお願いする場合があります。

主催 一般財団法人鳥取県労働者福祉協議会 共催／鳥取県

後援／一般社団法人鳥取県経営者協会、鳥取県商工会議所連合会、鳥取県商工会連合会、鳥取県中小企業団体中央会、中国労働金庫鳥取県営業本部、  
こくみん共済coop鳥取推進本部、連合鳥取、鳥取県生活協同組合、鳥取医療生活協同組合、鳥取県教育委員会、米子市、米子市教育委員会、新日本海新聞社

発行責任者 本川博孝 編集責任者 安部泰夫 編集委員 中島一彦・澤北和彦・横山美友・谷口美紀  
 発行日 2021年10月 発行 鳥取市天神町30番地5 (一財)鳥取県労働者福祉協議会 第312号  
 TEL (0857)27-14188